

札幌芸術の森美術館コレクション選

アフリカ セヌフォ族の絵布

セヌフォ族は、西アフリカのコートジボワール北部を中心にマリ南東部にまたがって居住する先住民族です。セヌフォ族の絵布は、すべて村の女性による手しごとです。細幅のざっくりとした厚手のカポック綿布を、何枚もつないで大きな布にして、黒と茶の染料を使って描いています。フリーハンドで描かれたユーモラスな仮面と衣装をまとった踊り手は、両手に楽器のようなものを持ち、楽しそうにダンスを踊っています。絵布そのものは伝統的な意味があるのではなく、欧米の海外援助の一環として指導を受けて制作されたものです。

本展は、当館に寄贈されたアフリカの仮面や楽器 118 点から構成される「橋本信夫・邦江コレクション」の中から、セヌフォ族の絵布を選びアフリカ文化の一端をご紹介します。また、絵布に描かれているセヌフォ族の特徴的な鳥の彫像等も併せて展示します。



セヌフォ族の多目的布



セヌフォ族の鳥像
“ボルガガ”

会 期 2017年1月28日(土)～3月26日(日)
開館時間 9:45～17:00(入館は閉館の30分前まで)
会 場 札幌芸術の森美術館 B 展示室
観 覧 料 無料
出品点数 絵布 15 点、立体 2 点

【同時開催】

札幌美術展 柿崎 森の奥底

北海道留萌市生れの現代美術家・柿崎(1946-)による初期の平面、立体作品のほか代表作である「林縁から」を中心に約60点を展示。

会 期 1月28日(土)～3月26日(日)

会 場 札幌芸術の森美術館

観覧料 一般 700(560)円/高校・大学生 350(280)円
小・中学生 150(120)円

※()内は20名以上の団体料金